

芦別高など3校合同チーム

28日の決勝に進出

札幌月寒ラグビー場 接戦で中標津下す

【芦別】第77回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権大会の準決勝が21日、芦別市なまこ山総合運動公園で開かれた。準決勝で芦別・羽幌・富良野の3校合同チームが、中標津を14-12で破り、決勝進出を決めた。決勝は28日に札幌月寒ラグビー場で遠征と対戦する。

合同チームは、序盤で一進一退の攻防が続

き、接戦が予想される対戦となった。均衡が破られたのは前半14分で、合同チームの15番、苫米地愁が抜け出して先制ラインを奪う。中標津はスピードに乗ったランで、右隅のインゴールに飛び込み5点を返して前半は7-5のリードで折り返す。

後半は、お互いに何度かチャンスもあったが、ミスや反則でリズムに乗れない時間帯が続いた。後半に一時逆転を許したが、15番苫米地がゴール中央にトライ、コンバーションも決まりそのままノーサイド。最後まで大接戦となり合同チーム初の決勝進出を掴み取った。選手は喜びを爆発させていた。

中標津は、2017年度以来の花園出場を目指す強豪校。芦別は昨年度は旭川と空知合同チームを組んで出場

したが、一回戦で中標津に敗退。今回の試合で雪辱を果たしたことになる。【船木宗司】